

パブリックコメントの結果について

募集期間：令和元年12月25日～令和2年1月24日

応募件数：1件

○市民の方から延べ1件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	0件	0件	1件	1件

【文章修正等】・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

【記述済み】・・・既に記述済みのもの。

【検討】・・・計画の実施段階で検討または対応すべきもの。

【反映困難】・・・反映が困難なもの。

【その他】・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

提出された意見等の詳細及び回答

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
1	アイデアポストへ投函	市内に住所がある人	<p>弘前市総合計画の将来都市像「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」に関して、「りんご色のまち」が弘前市の20年後の目標であり、言葉が明確に定義されていなければならない。また、「あずましい」は、津軽人の暮らしの中で育ってきた言葉で、ハピネスやウェルビーイングと同じではなく、多様な意味をもっていると考えられる。したがって、「あずましいりんご色のまち」の意味が明確で、PDCAサイクルにより検証できなければ目標としてふさわしくないのではないか。</p> <p>基本目標①について、若年層の転出抑制及び地元企業の離職率抑制につながる施策であるのか疑問がある。</p> <p>また、観光地域づくりと外国人観光客の誘客促進に関して、観光消費額の観点だけでなく、旅行者の心に響くような魅力づくりが必要である。</p>	<p>将来都市像「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」は、2040年頃を見据えた長期的な展望のもと弘前市の目指す姿について、市民会議の中で市民が議論を重ね、案をまとめたものです。将来都市像を指標として測定、評価することへのご意見ですが、将来都市像の実現に向けた重点的な取組であるリーディングプロジェクトのプロジェクト指標及び各政策の政策課題指標、施策成果指標を毎年度チェックし見直しを行っていくことで、しっかりと計画の評価と改善を図っていきます。</p> <p>ご意見をいただいた件については、市としても大変重要なことと認識し、総合戦略の基本目標や施策に掲げているものであり、今後、ご意見を踏まえ、取組を進めていきます。</p>

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
			<p>基本目標②について、県外からの転入は長期的な努力を要する課題である。収入・健康・幸せ度の3つが高まらなければ成果が期待できず、住んでいる人（優しさなどの内面も含む）・社会・自然が魅力的となるような取組が必要である。</p>	<p>移住者が地域で孤立することなく当市に愛着をもって住み続けたいと思えるように、交流の場の創出など環境づくりを行うとともに、当市の豊かな自然環境の保全に努めるなど、ご意見を踏まえ、総合戦略に基づき取組を進めていきます。</p>
			<p>基本目標③の数値目標について、出生率（人口1,000人当たり）ではなく、合計特殊出生率のほうが適切ではないか。</p> <p>また、重要業績評価指標として設定している「育児不安を感じた時に対処する方法を知っている親の割合」を基準値96.6%（2018年度）から目標値100%（2024年度）まで5年で3.4%向上させる目標値ではなく、別の評価指標の設定のほうが適切ではないか。</p>	<p>出生率を目標値として設定した理由としては、市町村単位の合計特殊出生率が5年に1度の公表となっており、毎年度評価を行うことに適した指標ではないため、出生率としたものです。</p> <p>また、「育児不安を感じた時に対処する方法を知っている親の割合」については、乳幼児の成長・発達に応じた支援の充実を図ることで、全ての親が育児不安に対する対処法を知っている状態を目標として掲げて数値を設定したものです。</p>